



あきお 昭夫
すい 確井

東結からの河川が合流する北今ヶ淵地区では、水が濺（た）んで排水ができません。雨季になると上流地域では道路が水に浸（ひた）かることもたびたびで、地域住民は不安な日々を過ごしています。近年住宅地も増えています。河川の改修整備と清掃は急務と考えます。町の考えは？

「歴史の道」の整備は、第二次総合計画の中で、3年か

「歴史の道」の整備は、第二次総合計画の中で、3年か



歴史街道（鎌倉街道）

質問 QUESTION

中須川河川の整備と清掃について

回答 ANSWER

環境整備に取り組みます

「参事兼建設課長」

質問

私たちの町は揖斐川と長良川に挟まれ豊富な水が産業に多大の恩恵を与えてくれました。反面、水害の被害も数多く経験し今日に至っております。最近では水路も改修され以前より良くなっていますが、ところどころ水の流れを妨げる箇所もあります。どのように河川の清掃を行っていますか。また、西結からの河川と

回答

昨今ゲリラ豪雨とも多く、揖斐・長良の水位や降雨状況等により、排水機を稼働させています。状況によりパトロールを行い、緊急時に備えています。河川は準用河川と普通河川がありますが、清掃は行政と地域の双方で実施しています。工場や建物の建設が進むなか、排水形態を見直し、水路の改修等水害から守る環境整備に取り組んでいきます。

質問 QUESTION

歴史街道（鎌倉街道）の整備は？

回答 ANSWER

前向きに検討していきます

「生涯学習課長」

質問

私たちの町は、古くから東西の交通の要所として栄えてきました。特に鎌倉時代、京都と鎌倉を結ぶ街道として整備された「鎌倉街道」は、入方から上村・町屋を通り揖斐川を通り抜ける道でした。途中、馬止めの社の津島神社があり、一里塚も見受けられます。また、小栗判官と照手姫の悲恋物語伝説で有名な観音堂は結大明神の前に鎮座されています。

回答

「歴史の道」の整備は、第二次総合計画の中で、3年か

後世にわが町の良いところを引き継いでいけるよう街道周辺の整備をお願いしたい。最近、朝夕の散歩コースとして利用する住民もおられ、児童の教材と合わせて活用できる整備をお願いします。

「歴史の道」にまつわる歴史の掘り起こしに積極的に取り組んでいきます。

今後、前向きに検討していきます。

児童・生徒が郷土の歴史や文化を学習することは地域愛を高めるうえで大切なことです。

景観は良くなり、多くの住民に親しまれる場所になりました。県道から東の区間は、地元から延伸の要望がありました。課題も多く、検討事項になっていました。